

研究室近況

日本の社会事業教育の歴史において、本学社会福祉学科の存在は無視されないものである。

社会福祉学科は、1971年で満50年をむかえた。この間、幾多の曲節を経てきたが、1969年にはカリキュラムの改編が行われた。当時各地の大学において大学の本質、学問と実践、人間の主体性の問題等々論議が沸騰したが、当社会福祉学科においても従来のカリキュラムの再検討、それにつづくカリキュラムの年度中途改編という問題を生じ、混乱と模索の努力の中で、1970年度より新しいカリキュラム方針が打ち出された。

新カリキュラム方針の大綱は次のようなものである。

1. 社会科学的視点に立ち、より統一された社会福祉学をめざし、カリキュラムに社会問題、政策、運用の3つの柱をたてる。
2. 課目選択の幅を広げるため、必修課目は3つの柱の各分野に1課目ずつのみとする。
3. カリキュラムに学生の意見を反映させるために意見交換の場をもうける。

これらの基本方針は本年度も続行され、その成果が注目されている。

研究室スタッフの研究動向は後に述べるが、最近、研究室として行った主な仕事は1971年3月に菅支那教授停年退職記念論文集「児童福祉—日本の現状と問題点」（家政教育社）を研究室スタッフ、卒業生の分担執筆により、社会福祉学科研究室編で出版したこと。また第19回日本社会福祉学会の開催校となったことがあげられる。この学会において当研究室からは小島蓉子先生が「リハビリテーションにおける福祉と医療」を報告された。

今後の研究室としての計画は社会福祉学科創立50年の本年を契機に、関係諸先生、社会福祉学科卒業生のご協力を得、「社会福祉学科50年史」（仮題）の編纂を社会事業、社会事業教育の歴史をも含めたかたちで行なうこと。また新しく佐藤進教授をむかえ、共同研究として老人福祉の分野

をかためていくという案も進んでいる。

学科スタッフ動向

吉沢英子助教授、岩本岩子助手は1971年3月をもって本学を退任、一方同年4月、大友昌子が助手として、また10月1日付をもって佐藤進教授が金沢大学より本学科に就任された。佐藤教授は社会保障法、労働法を専門とされる。

今年度、吉沢先生は非常勤講師として「養護原理」「グループ・ワーク」を、佐藤先生は「社会保障法」「基本的人権論」「労働法」を講義される。また非常勤講師として40年余りに渡り、本学科において「公衆衛生」を講義された佐藤美実先生が本年3月をもって停年退職された。

松本教授は1970年度の国内留学をおえ、引き続き児童福祉の研究に専念、一番ヶ瀬学科主任は広範な社会的活動と共に、今年は論文集「現代社会福祉論」（時潮社）をはじめ多くの文筆活動をされている。小島助教授は本年も社会福祉資源の調査にオーストラリア・東南アジア諸国をまわり、また全太平洋職業リハビリテーションセミナーにおいては「アジア及び太平洋地域のリハビリテーション対策の現況」（英文）を発表するなど国際的な活動を続けられ、米地助教授は「村落祭祀構造研究序説」の論文で、社会学博士の学位を得られた。田端講師、向山講師も各分野で活動研究され、また倉岡、宇都、大友助手も共に各自の研究を進めている。

以上、研究室近況の概略である。

次に研究室スタッフの著作、論文をあげる。

昭和43年

「家庭福祉」家政教育社、松本武子、小島蓉子、他共訳（原著 Social Work with Families）
「スウェーデンの社会福祉」全国社会福祉協議会
一番ヶ瀬康子、他共著

「社会福祉論」有斐閣 一番ヶ瀬康子、向山耶幸、他共著

「国民法令全書」金子出版 一番ヶ瀬康子共著
「先進諸国のリハビリテーション」(リハビリテーション講座第5巻)小島蓉子、他共著

「農業労働市場の変容に関する一資料」(日本女子大学文学部紀要)田端光美

「老齢福祉年金と夫婦受給制限の違憲性」(法律のひろば)佐藤進

「E E C諸国の社会立法調整化に関する考察」(石崎政一郎教授古稀記念「ヨーロッパ法の動向」所収)佐藤進

昭和44年

「保育所における乳児保育」家政教育社 松本武子 吉沢英子他共著

「児童福祉概説」ミネルヴァ書房 松本武子 分担執筆

「婦人労働と乳児保育」(厚生指標6月号)松本武子

「児童福祉論」国土社 一番ヶ瀬康子著

「家庭と社会」(婦人問題講座)亜紀書房 一番ヶ瀬康子編著 田端光美分担執筆

「脳性マヒ者就労の実態」日本肢体不自由児協会 小島蓉子共著

「特殊教育用語辞典」第一法規出版 小島蓉子分担執筆

「教育公務員の労働基本権」明治図書出版 佐藤進著

「日本の老令保障」日本労働協会 佐藤進著

「社会保障の法体系・上」勁草書房 佐藤進著

「社会保障と貧困者訴訟援護制度」(週間社会保障 512号)佐藤進

「国際比較からみた日本の労働時間法制」(季刊労働法72号)佐藤進

「健康保険法改正の検討と批判」(有斐閣ジュリスト)佐藤進

昭和45年

「家計と生活」読売新聞出版局 一番ヶ瀬康子編

「現代女子教育批判」明治図書 一番ヶ瀬康子著

「社会科学事典」鹿島出版 一番ヶ瀬康子分担執筆

「国史辞典」吉川弘文堂 一番ヶ瀬康子分担執筆
「米騒動と日本社会事業の成立」(日本女子大学紀要) 一番ヶ瀬康子

「社会福祉の現代的課題」(社会福祉研究7号所収) 一番ヶ瀬康子

「心身障害者福祉」誠信書房 小島蓉子著

「日本キリスト教社会事業史にみる 山室軍平の位置と業績」(月刊キリスト8月号所収)小島蓉子

「心身障害者(児)に対するコミュニティ・ケア」(地域活動研究9号所収) 小島蓉子

「諸外国学生ヴォランティア活動 イギリスとアメリカの場合」(厚生補導3月号所収) 小島蓉子

「労働・安全・衛生と労働災害補償」(労働法大系17巻)総合労働研究所 佐藤進著

「沖縄の一体化政策と社会保障の問題」(賃金と社会保障所収)佐藤進

「ILO条約と母性保護 労働法・社会保障法の観点から」(ILO世界の労働4月号所収)佐藤進

「地方自治体と社会福祉」(自治職員研修5月号所収)佐藤進

「社会保障法体系における失業保険」(有斐閣ジュリスト昭和45年11月1日号)佐藤進

昭和46年

「現代社会福祉論」時潮社 一番ヶ瀬康子著

「人物でつづる近代社会事業の歴史」全国社会福祉協議会 一番ヶ瀬康子、共編著

「児童学」(社会学叢書11)学文社 松本武子分担執筆

「捨子を通じてみた子供の生活に関する一考察」(社会福祉研究8号所収) 宇都栄子

「Rehabilitation for the Handicapped in Japan」日本身体障害者リハビリテーション協会 小島蓉子編著

「Vocational Rehabilitation Programs for the Handicapped in the Pan-Pacific Countries」日本身体障害者リハビリテーション協会 小島蓉子編著

「障害者とワークショップ」(ワークショップ研究会)小島蓉子分担執筆

「産業構造の変革と生活基盤整備をめぐる諸問題の分析」(金沢大学法学)佐藤進

「沖縄の医療保障」(法律時法10月号)
佐藤進

「官公労働に関する諸外国の法制度」別冊法学セミナー-基本法コンメンタール「労働法」所収 佐藤進

「現代社会における社会保障の法制度と生存権」総合労働研究所 佐藤進

「児童福祉 — 日本の現状と問題点」菅支那教授退職記念論文集, (家政教育社) 日本女子大学社会福祉学科編

(1971年末現在, 大友記)